

さいたま市立大宮八幡中学校

〔学校教育目標〕心豊かでたくましい、

広い世界に生きる人間の育成

学校だより **きゃら**
「大宮八幡中学校の樹」



さいたま市見沼区大字南中丸357

TEL 048-687-8800

FAX 048-687-9301

第2号

令和8年5月8日 発行

「さいたま市民の日」

～好奇心こそすべての始まり～

校長 下館 文雄

新緑がまぶしい季節となりました。4月17日（金）の授業参観及び保護者会、24日（金）の部活動保護者会には、多くの保護者の皆様にお越しいただきありがとうございました。子どもたちは4月に入学・進級してから1ヵ月が経ち、新しいクラスの友人、先生方との生活に少しずつ慣れてきた様子が見られます。はじめは緊張した表情だった生徒たちも、今では笑顔で学校生活を送る姿が増えてきました。

さて、5月1日は「さいたま市民の日」です。この日は、市の誕生と歴史・文化に親しみ、市民の一体感やまちづくりへの参加意識を高めることを目的として定められた記念日であり、今年はいよいよさいたま市誕生25周年を迎える記念すべき日でもあります。私たちの住む地域の歴史や文化、人々の営みに目を向けることは未来の社会を考える第一歩でもあります。

本校では、こうした学びをESD（持続可能なための開発の教育）の視点と結びつけて大切にしています。ESDとは、現代社会の問題を自らの問題として主体的に捉え、人類が将来の世代にわたり恵み豊かな生活を確保できるよう、身近なところから取り組むことができる力をはぐくむ教育です。地域について学ぶことは、そのまま社会の仕組みや課題に気づくことにつながります。

では、その学びの出発点は何でしょうか。それは「好奇心」です。「なぜこうなっているのだろう」や「もっと知りたい」という気持ちがすべての学びの始まりです。身近な街並みや行事、人々の暮らしに目を向け、小さな疑問を大切にすることが、やがて大きな学びへとつながっていきます。

「さいたま市民の日」をきっかけに、ぜひ自分たちのまちを見つめ直してください。そして、そこから生まれる好奇心を大切にしながら、未来を考える力をはぐくんでいきましょう。



【職員玄関横の庭園】